【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	がん薬物療法に伴うEVに関する合同ガイドライン
対象	がん薬物療法を経静脈投与している患者
介入	逆血確認をする
対照	逆血確認をしない

＊バイアスリスク，非直接性
　各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
　まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
　各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
　まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）												
アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
血管外漏出の早期発見	Expert opinion/1 観察研究/1	-1	-1	-2	-1	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	非常に弱(D)	7	
デバイスの位置、破損を発見	観察研究/2	-1	-1	-2	-1	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	非常に弱(D)	7	
確実に血管内に入っていることが確認できる	Expert opinion/1 観察研究/1	-1	-1	-2	-1	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	非常に弱(D)	7	
薬剤投与を止めることができる	Expert opinion/1	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	非常に弱(D)	7	
皮膚障害（発赤・腫脹）の発生減少	NA																	6	該当文献なし

コメント（該当するセルに記入）